

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13086	3	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	医療栄養学概論 (Principle of Medical Nutrition)				
担当教員名	小西 敏郎				
授業の概要及び到達目標					
<p>病理学Ⅰ・Ⅱや臨床栄養学Ⅰ・Ⅱの知識を基に、各疾病の発症や進行について病態評価や診断、治療の基本的な考え方を理解するとともに、栄養障害との関連を理解する。</p> <p>具体的には、栄養・代謝・内分泌系、消化器系、循環器系、精神・神経系、血液・造血器系、骨格・運動器系、アレルギー・免疫系などの疾患のうち、実社会に出て実際に医療に携わったときに、栄養士が多く遭遇する疾患、とくにがんや生活習慣病あるいは高齢者によくみられる疾患を中心に、病態、予防、診断、治療について講義する。</p>					
準備学習等					
<p>上記の目標を達成するために、各領域における専門医師を招き講義していただく。</p> <p>これまでに学んだ解剖学・生理学・病理学、基礎栄養学、応用栄養学、臨床栄養学の知識を統合・整理しながら、各疾患の病態を理解し、臨床現場での応用が自分の判断で可能になるように学ぶ。</p> <p>教室での講義が中心なので、予習よりは復習が重要である。(講義によっては、テキストの「栄養管理ビジュアルガイド」による予習・復習を求めるが、あらかじめ連絡します)</p>					
成績評価の方法	期末試験 70% 授業の出席状況や授業中の態度、予習・復習の様子など 30%				
テキスト	「栄養管理ビジュアルガイド」 小西敏郎・森本修三・小城明子 編集 学研メディカル秀潤社発行				
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーで学べる「病理学」第4版 編集 渡辺照男 (ヌーヴェル ヒロカワ社発行) (病理学の授業で使用している) ・シンプル病理学 (南江堂)、 ・スタンダード栄養・食物シリーズ 疾病の成り立ち Ⅰ 病理・診断・治療、Ⅱ 臓器別の病気 (東京化学同人) ・桐野高明著「医療の選択」(岩波新書) 				
備考					

授 業 計 画

①	はじめに・日本の医療の動向と栄養の重要性	小西	敏郎
②	医療倫理と栄養管理	小西	敏郎
③	医療につながる栄養学研究	脊山	洋右
④	栄養管理に必要な消化器症状	小西	敏郎
⑤	経腸栄養と静脈栄養（その1）	小西	敏郎
⑥	経腸栄養と静脈栄養（その2 手技と問題点）	丸山	道生
⑦	創傷・褥瘡の栄養管理	大村	健二
⑧	がん患者の栄養管理	大村	健二
⑨	食生活とがん予防	小西	敏郎
⑩	肥満と栄養（1）	宮崎	滋
⑪	肥満と栄養（2）	宮崎	滋
⑫	アンチエイジングの食習慣	後藤	真
⑬	精神疾患・認知症と栄養管理	三山	健司
⑭	味覚を感じる舌と嗅覚と脳のしくみ	加我	君孝
⑮	まとめ	小西	敏郎

(以上の予定ですが、変更の可能性があります)